

技術トレーニング動画字幕

第1部 - エンバイロテイナー・コンテナの概要

シーン1

温度感性医学製品の船荷主が直面する課題は少なくありません。業界は厳しく規制されているだけでなく、扱っている製品は地球の所々にある施設で加工する必要があります。製品は、保管中、流通中に、指定された温度範囲を超えた場合、使用不可になる恐れがあります。

この状況で規制当局は、温度感性製品の流通に焦点を当てて、関連する労働者が全て訓練を受けることは要件となりました。そこで、このビデオはエンバイロテイナー・コンテナについて意識トレーニングを行って、この要件を満たすことを目的としています。

シーン2

エンバイロテイナー・コンテナには2つのバージョンがあります。“t”バージョンは冷却、“e”バージョンは加熱または冷却機能です。現在、使用されているコンテナモデルは様々で、CLD、LD-3、およびLD-9サイズのユニットロード装置が含まれます。

“e”バージョンのコンテナは必要に応じて加熱したり、冷却したりして製品の温度を維持します。内蔵充電式バッテリーでヒーターに電力を供給して、圧縮機で構成されている冷凍システムで作動します。製品の温度を、摂氏0度から20摂氏度以内の設定ポイントに維持します。

シーン3

“e”バージョンのコンテナは、通常、“冷凍”、“非冷凍”、あるいは“調整可能な温室”指定の医療製品、温度感性で高価な製品の運送に使用されています。“e”バージョンのコンテナは、ビデオの他のセクションで説明しますが、ただいま、コンテナの“t”バージョンに焦点を当てましょう。

“t”バージョンのコンテナは、冷媒としてドライアイスと、電力供給のためにアルカリ単1電池バッテリーを使用しています。これは一般的に、“冷凍”、“凍結”、“冷蔵”または“凍結防止”と指定された製品に使用されています。

シーン4

“冷却専用”のソリューションと同様に、“t”バージョンコンテナは、低い周囲温度に敏感です。船荷主の指示がなければ、“調整可能な温室”の輸送に“t”バージョンコンテナを使用することはよくありません。

シーン 5

CLD コンテナは、容量の小さい負荷を考慮して設計されたもので、2人またはフォークリフトで扱うことができます。2つのファンで構成されているが、1つは冷却用、もう1つは冷却ファンが切っている時に、コンテナ内の空気を流通させます。“CLD”は通常、電池がセットされた時点から48時間作動可能で、アイスバンカーのドライアイス容量力は45キロです。

シーン 6

RKN コンテナは、パレットを1つ収容でき、フォークリフトで扱われます。冷却ファンが1つ装備されており、電池がセットされた時点から48時間作動できます。アイスバンカーはドライアイスを180キロまで収容できます。

シーン 7

RAP コンテナは、“米”サイズパレットを4枚、あるいは“欧”サイズパレットを5枚収容できます。空になっている場合はフォークリフトで移動できるが、ロードされた後でローラーベッドまたはスレーブパレットを使用する必要があります。冷却ファンが2つ装備されていて、電池がセットされた時点から72時間作動できます。アイスバンカーはドライアイスを300キロまで収容できます。

シーン 8

“t”バージョンのコンテナは、内部の空気の温度や流通を調節することによって製品の温度を維持します。16個“単1”アルカリ電池はユニットやファンに電力を供給します。冷却が必要な場合は、ファンが外部の空気をコンテナの内に引き入れてドライアイスバンカーに入れ込みます。空気の熱はバンカーのアルミニウム製の表面を通して移動されるので、ドライアイスに接触しません。冷却された空気は空気誘導装置によって積荷エリアへ、製品の周りを通され、そしてファンに戻されます。

代理機能性、電力の増加のために、2つのバッテリー回路があります。各回路のバッテリー電圧はコンテナ制御装置に表示されます。エンバイロテイナー・コンテナにはアルカリ電池だけは使用するべきです。

シーン 9

コンテナは、壁に隣接して配置された場合でも製品の周辺に空気の流通を確保するために、壁にスペーサーがあります。また、空気を床に沿って流通させるために、製品は高さ2センチ以上のパレットまたはスペーサーに置かれます。スペーサーは互いに並行でバンカーに向かって横で配置するべきです。また積荷は赤線を超えて積み込むべきではありません。

シーン 10

C L Dにおける空気の流れは特別です。冷却が必要な場合、ファンは下の吸気口から空気を引き入れ、バンカーの周りに流通させた後でコンテナのふたの空気誘導装置を通して空気を吹き出します。

冷却ファンを切ると、流通ファンは上の吸気口から空気を引き入れ、下から吹きかけます。ファンの上あるいは下の吸気口を塞がないこと、赤線を超えて積み上げないことは注意すべき項目です。

復習

このセクションで学んだ主要な点を復習するには：

- 製品の温度要件に最も適切なコンテナを選択します。
- "t"バージョンのコンテナの場合は、コンテナに指定された範囲を超えて、製品を周囲温度にさらしてはなりません。
- 製品をパレットまたはスペーサーに積んで、空気の流れを阻まないこと。
- RKN、RAP のコンテナの場合は、ストラップなどを使用して積荷の位置を固定します。